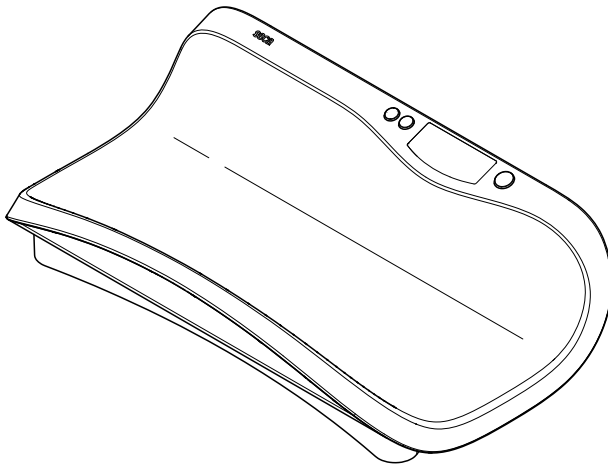


seca 378



目次

1. 装置についての説明	3	6. ワイヤレスネットワーク seca 360° ワイヤレス	18
1.1 お買い上げいただき、ありが とうございます！	3	6.1 はじめに	18
1.2 用途	3	seca ワイヤレスグループ	19
2. 安全に関する情報	3	チャンネル	19
2.1 安全に関する基本的注意	3	装置の認識	20
2.2 この取扱説明書での安全上の 注意	4	6.2 ワイヤレスグループ内の体重 計の運用	20
2.3 乾電池と充電電池の扱い	5	ワイヤレスモジュールをオン にする (SYS)	20
3. 概観	6	ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))	21
3.1 操作エレメント	6	自動転送をオンにする (ASend (自動転送))	23
3.2 ディスプレイ内のシンボル	7	印刷オプション (APrt (自動印 刷)) を選ぶ	23
3.3 型式ラベルの標示	7	時刻を設定する (Time (時刻))	24
3.4 メニュー構造	9	7. 清掃	24
4. ご使用になる前に	10	8. こんなときはどうする？	25
4.1 電池をセットする	10	9. メンテナンス / 再検定	27
4.2 体重計の設置	10	9.1 メンテナンスと再検定につい ての情報	27
5. 操作	11	9.2 度量衡メーター内容を検証する	28
5.1 体重を量る	11	10. 技術データ	29
体重測定手順を開始する	11	11. アクセサリー	30
追加重量を差し引く (風袋引き)	12	12. 廃棄処分について	30
測定結果を表示し続ける (HOLD)	12	12.1 装置の廃棄処分	30
測定結果をワイヤレス受信装 置に転送する	13	12.2 乾電池と充電電池	31
自動体重測定領域切替	13	13. 保証について	31
体重計をオフにする	13		
5.2 その他の機能を使用する	14		
メニュー内をナビゲーション する	14		
差異機能を使用する (BMIF) ..	15		
自動保持機能をオンにする (Ahold)	16		
シグナル音をオンにする (BEEP)	17		
抑制を設定する (Fil)	17		
工場出荷時の設定に戻す (RESET)	18		

1. 装置についての説明

1.1 お買い上げいただき、ありがとうございます！

ご購入いただいたこの乳児用電子体重計 **seca 378** は、高精度でしかも頑丈な製品です。

170 年以上にわたって seca 社は健康関連の事業で経験を重ね、マーケットリーダーとして世界各国で計量と測定向けの先進的開発によって、新たな基準を打ち立て続けています。

1.2 用途

この乳児用電子体重計 **seca 378** は各国の規定に準拠した上で、主に病院、クリニックなどで使用されています。これは、出生時体重の測定にも成長プロセスの体重増の検査にもご利用いただけます。

測定結果は、ワイヤレスネットワーク **seca 360° ワイヤレス** を通じて seca ワイヤレスプリンターに、もしくはソフトウェア **seca analytics 105** と **seca 360° ワイヤレス USB アダプター 456** を備えたパソコンにワイヤレスで転送されます。

2. 安全に関する情報

2.1 安全に関する基本的注意

- ・取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
- ・取扱説明書は大切に保管してください。
- ・体重計が傾斜のない平坦な下地に安全な状態で置かれていることを確認してください。
- ・体重計を落下させないでください。この体重計に強い衝撃を与えないでください。
- ・定期的にメンテナンスと再検定を依頼してください（27 ページの「メンテナンス / 再検定」を参照）。
- ・メンテナンスおよび修理は、必ず資格を有するサービス担当者に行わせてください。最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探してください。あるいは service@seca.com にメールしてください。

- 必ず seca 社オリジナルのアクセサリーと、同じくオリジナルの交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には当社は保証いたしかねます。
- 誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といった HF（短波）装置とは、最低でも 1 メートルの距離をあけてください。

2.2 この取扱説明書での安全上の注意



危険！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。



警告！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながることがあります。



注意！

危険状況を表示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながる可能性があります。

気をつけて！

装置の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意を無視した場合、装置を損傷させたり誤った測定結果が出ることがあります。

注意事項

この装置の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

2.3 乾電池と充電電池の扱い

この装置には、6本の単三乾電池と一緒に納品されます。この乾電池タイプは、再充電できません。以下の安全上の注意に留意してください。



警告！

不適切な扱いによる人体の被害

乾電池は有害な物質を含んでおり、不適切な扱いをすると激しい勢いで噴出することがあります。

- 乾電池の再充電を試みることはお止めください。
- 乾電池 / 充電電池を加熱してはいけません。
- 乾電池 / 充電電池を燃焼させてはいけません。
- 酸が漏れ出した場合には、皮膚、目、粘膜に触れないようにしてください。触れてしまった箇所があれば、十分に清浄な水ですすぎ流し、すぐに医師の診察を受けてください。

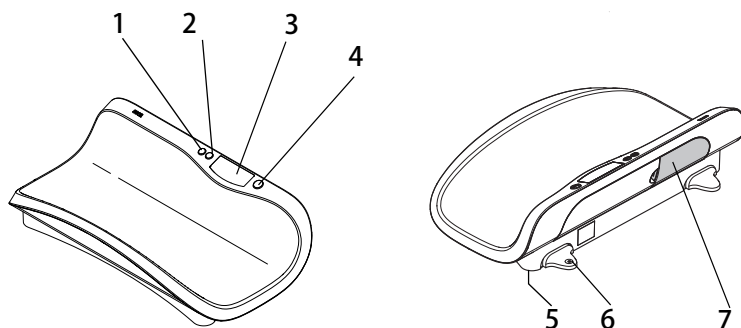
気をつけて！

不適切な扱いによる装置の破損および誤作動

- 必ず指定されている乾電池タイプ / 充電電池タイプをご使用ください（10ページの「電池をセットする」を参照）。
- すべての乾電池 / 充電電池は必ず同時に交換してください。
- 乾電池 / 充電電池をショートさせてはいけません。
- 装置を長い間ご使用にならない場合には、乾電池 / 充電電池を取り外してください。そのようにすれば酸が装置に漏れ出すということがありません。

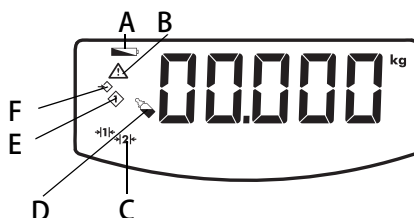
3. 概観

3.1 操作エレメント



No.	操作エレメント	機能
1		矢印ボタン ・ 体重測定中 - 短く押す 保持機能をオンにする - 長く押す 風袋機能をオンにする ・ メニュー内で - サブメニューを選択する、メニュー項目を選択する - 値を設定する
2		エンターボタン ・ 体重測定中（ワイヤレスネットワークが設定されているとき） - 短く押す 測定結果を受信可能な装置（USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に転送する - 長く押す 測定結果を印刷する（ワイヤレスプリンター） ・ メニュー内で - 選択したメニュー項目を確定する - 設定した値を保存する
3	ディスプレイ	測定結果および装置の設定のための表示エレメント
4		スタートボタン - 装置のオン/オフ
5	脚部調整ねじ	4 個、正確な位置調整のために使用
6	水準器	この装置が水平に立っているかを表示
7	電池収納スペース	6 本の単三乾電池（1.5 V）を収納

3.2 ディスプレイ内のシンボル



	シンボルマーク	意味
A		乾電池の電圧が低下
B		検定不能機能がオンになっている
C		現在使用中の体重測定範囲 1: 負担能力が低い場合における、より正確な体重表示 2: 最大限の負担能力
D		差異値機能（BMIF（母乳摂取機能））オン
E		測定結果をメモリースペース 1 に（BMIF 機能）
F		メモリースペースを選択（BMIF 機能）

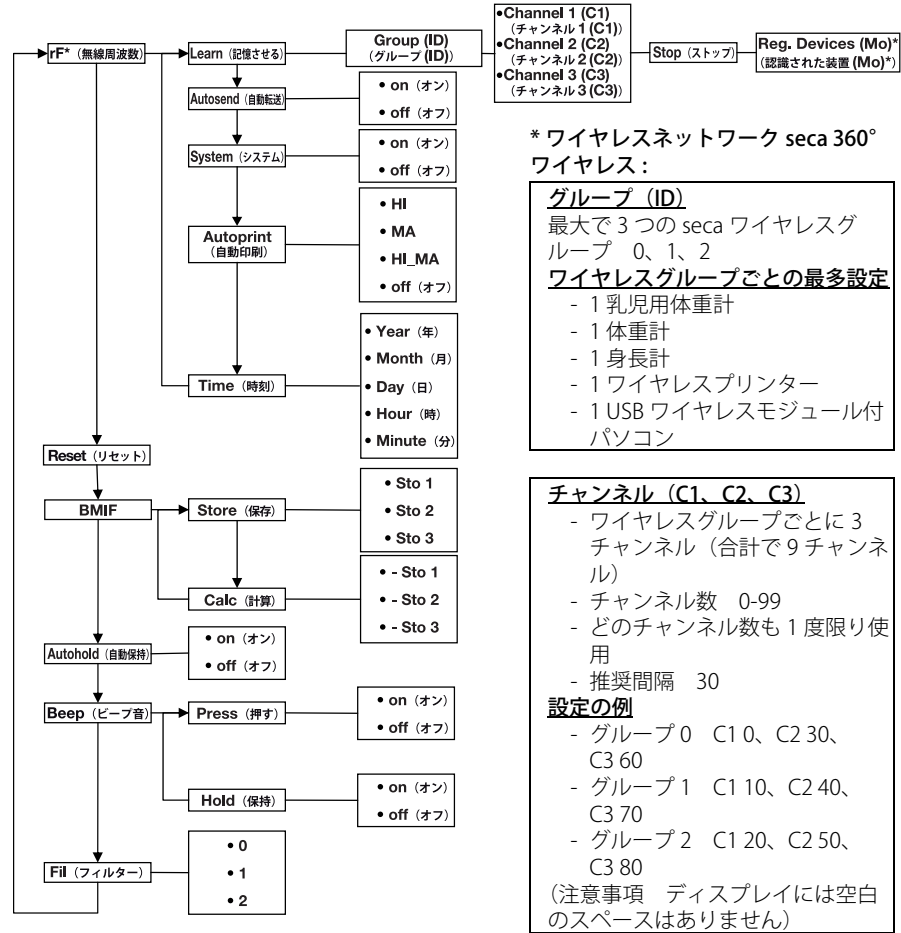
3.3 型式ラベルの標示

テキスト / シンボル マーク	意味
Modell	モデル番号
Type	型式名
Ser. No.	シリアル番号
	取扱説明書に留意
	電子医療機器（タイプ B）（ヨーロッパ内）
	保護絶縁された装置、保護クラス II
M	装置は指令 2009/23/EC に適合（ヨーロッパ内）
	指令 2009/23/EC に準じて検定 クラス III（ヨーロッパ内）

テキスト / シンボル マーク	意味
	装置は EC の規格および指令に適合
	特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則に適合。 認証番号 202WW09118012
	装置を家庭ゴミとして廃棄しないこと

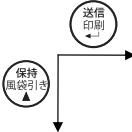
3.4 メニュー構造

この装置のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そしてこの装置をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます（詳細は 14 ページ以降）。



ナビゲーション:

メニュー呼び出し:

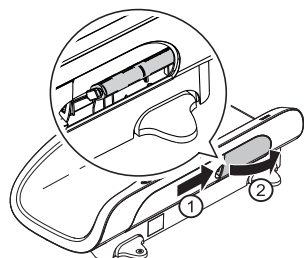


認識された装置 (Mo)

- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: USB ワイヤレスモジュール付パソコン
- 7: 乳児用体重計

4. ご使用になる前に …

4.1 電池をセットする



6本の単三乾電池（1.5V）が必要（納品内容に含まれています）。

1. 電池収納スペースのカバーを押します。
2. 電池収納スペースのカバーを外します。
3. 乾電池の留め金を引き出します。
4. 乾電池をその留め金にセットします。

注意事項

電池の+/- 極を正しくセットしてください（電池の留め金のマーキングに注意）。ディスプレイに **bAt** と表示されたら、乾電池の中に極を逆にセットされたものがあるか、あるいは乾電池が空です。

5. その乾電池をセットした留め金を電池収納スペースに入れます。
6. 電池収納スペースを閉じます。

4.2 体重計の設置

この体重計は納品時に完全に組み立てられています。

気をつけて！

他の部分に重さがかかることによる誤測定

体重計がケースとともに、例えばタオルの上に載っていると、体重を適切に測定することができません。

- － 体重計は、脚部調整ねじだけで床に接するように設置してください。

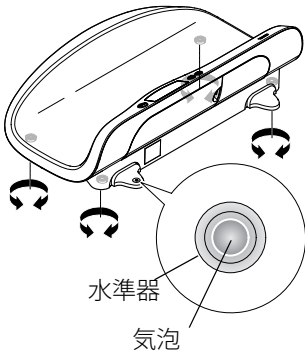
1. 体重計は堅い平面上に設置してください。

気をつけて！

不適切な位置調整による誤測定

水準器はとても敏感です。タオルといった追加重量があると体重計の位置調整が不正確になります。

- － 装置の位置を調整する場合、必ず重さのかかっていない状態で行ってください。



2. 脚部調整ネジを回して、体重計の位置を調整します。
水準器の気泡が円の中央に来るように調整してください。

5. 操作

5.1 体重を量る



警告！

転落による乳児が重度の怪我をする

乳児用体重計は、よく高い場所に設置されます。その作業平面から乳児が転落した場合、乳児が重大で取り返しのつかない、あるいは死亡原因となる怪我を負うことがあります。

- － 人が見ていない状態で乳児を体重計の上に載せたままにするのは絶対にお止めください。

体重測定手順を開始する



1. 体重計に何も載っていないことを確認してください。
2. スタートボタンを押します。
ディスプレイには **SECA** と表示され、ディスプレイのすべてのエレメントが短い間表示されます。
ディスプレイに **0.000** と表示されれば体重計は作動準備完了です。
3. 乳児を体重計の上に載せます。
4. 測定結果を読み取ります。

追加重量を差し引く (風袋引き)

風袋引き機能を使うと、追加重量（例えばはかりの床に敷くタオルや敷物）が体重測定結果に影響を与えるのを回避することができます。

気をつけて！

他の部分に重さがかかることによる誤測定

但し、大きなタオルなどの追加重量が、体重計を設置した床面に触れていると体重を正確に測定することができません。

- － 追加重量が体重計の測定用の床面にだけかかっていることを確認してください。



1. 追加重量を体重計の上に載せます。
2. 矢印ボタン（保持 / 風袋引き）を「NET」というメッセージが表示されるまで押し続けます。
3. その表示が点滅しなくなり、代わりに **0.000** が表示されるまで待ちます。
4. 乳児を体重計の上に載せます。
5. 測定結果を読み取ります。
追加重量が自動的に差し引かれています。
6. 風袋引き機能をオフにするには矢印ボタン（保持 / 風袋引き）を「NET」というメッセージが表示されなくなるまで押すか、体重計のスイッチをオフにします。

注意事項

最大表示可能体重は、既に載せられている物の重さだけ削減されます。

測定結果を表示し続ける (HOLD)



HOLD（保持）機能をオンにしていると、体重値は体重計に重さがかかっていなくてもずっと表示され続けます。ですからまだ測定値を記録していなくても乳児をケアすることができます。

1. 体重計に負荷をかけます。
2. 矢印ボタン（保持 / 風袋引き）を短く押します。

表示は、測定している体重が安定するまで点滅します。その後、体重値が表示されたままになります。 シンボル（検定不能機能）および「HOLD（保持）」というメッセージが表示されます。



3. HOLD（保持）機能をオフにするには矢印ボタン（**保持 / 風袋引き**）を短く押します。
 ▲シンボルおよび「HOLD（保持）」というメッセージは表示されなくなります。

注意事項

自動保持機能がオンになっていると体重値は、自動的に表示されたままになります。16ページの「自動保持機能をオンにする (Ahold)」を参照。

測定結果をワイヤレス受信装置に転送する



体重計が **seca 360° ワイヤレスワイヤレスネットワーク** に統合されていると、ボタンを押すと測定結果を受信可能な装置（ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に転送することができます。

- ◆ エンターボタン（**送信 / 印刷**）を押します。
 - ボタンを短く押す 測定結果をすべての受信可能な装置に送る
 - ボタンを長く押す 測定結果をワイヤレスプリンターで印刷する

自動体重測定領域切替

この体重計では 2 つの測定領域を使うことができます。測定領域 1（→H←）では、かかる体重が小さく、より正確な表示が可能です。測定領域 2（→R←）では、体重計の負担能力を最大限まで利用することができます。



体重計のスイッチを入れると測定領域 1 がオンになります。特定の体重値を超えると体重計は自動的に測定領域 2 に切り替わります。



再度、測定領域 1 に戻すには、次の手順で行ってください。

- ◆ 体重計からすべてのものを降ろします。
 再び測定領域 1 がオンになります。

体重計をオフにする



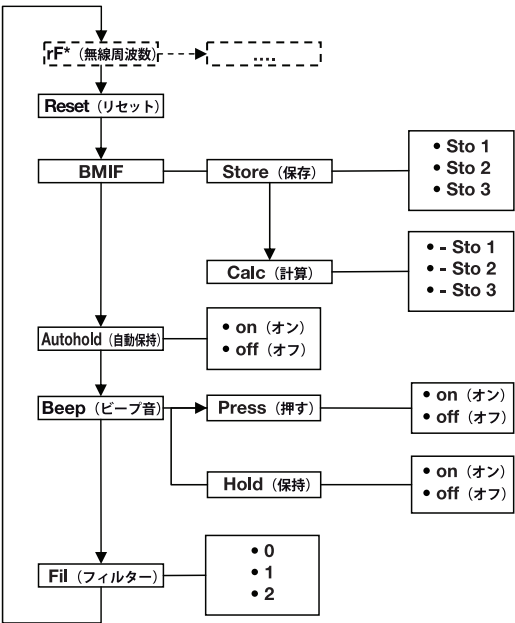
- ◆ スタートボタンを押します。

注意事項

体重計に何も載せられていないと、しばらくして自動でオフになります。

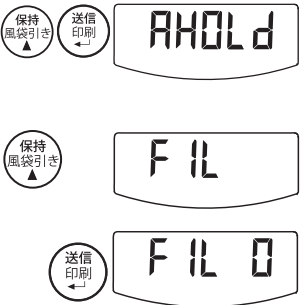
5.2 その他の機能を使用する

この体重計のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そのようにしてこの体重計をお客様の使用条件に最もよく合うように設定することができます。

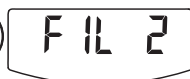
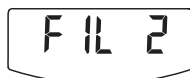


*メニュー項目「rF (無線周波数)」の説明は、“ワイヤレスグループ内の体重計の運用ページの「」20の章をご覧ください。

メニュー内をナビゲーションする



1. 体重計のスイッチをオンにします。
2. エンターボタンと矢印ボタンを同時に押し続けます。
最後に選択したメニュー項目がディスプレイに表示されます（ここでは自動保持「Ahold」）。
3. 矢印ボタンを、ご希望のメニュー項目がディスプレイに表示されるまで何度も押します（ここでは抑制「Fil」）。
4. エンターボタンで選択を確定します。
メニュー項目もしくはサブメニューに関する現在の設定が表示されます（ここでは段階「0」）。



- 設定を変更し、または他のサブメニューを呼び出すには、矢印ボタンを、ご希望の設定（ここでは段階「2」）が表示されるまで何度も押してください。
- エンターボタンでその設定を確定します。メニューは自動的に終了します。
- 他の設定を行うには、メニューを新たに呼び出し、既に説明したやり方で設定を行います。

注意事項

約 24 秒間ボタンが押されないままだとメニューは自動的に終了します。

差異機能を使用する (BMIF)

BMIF 機能 (BMIF は母乳摂取機能) を使うと乳児が食事時に摂取した食べ物の量を測定できます。それにはまず現在の体重を記録します。食事の後、記録した体重を再び呼び出し、乳児の体重をもう一度測定します。体重計はその差異、つまり摂取した食べ物の量を算定します。

- 体重計のスイッチをオンにします。
- 食事前の乳児を体重計の上に載せます。現在の体重が表示されます。
- メニューで項目 BMIF を選択します。「差異値機能」のシンボルが表示されます。
- その選択を確定します。
- メニュー項目 **Sto** を選択します。「メモリースペース」のシンボルが表示されます。
- その選択を確定します。**Sto 1** が表示されます。「メモリースペース」のシンボルが表示されます。ディスプレイに矢印が点滅します。
- 3 つのメモリースペースから 1 つを選択します (ここでは 2)。
- 選択を確定します。現在の体重値が記録されます。
- 食事後の乳児を体重計の上に再び載せます。





②



②



10. メニューで項目 BMIF（母乳摂取機能）を選択します。
11. その選択を確定します。
12. メニュー項目 **CALC** を選択します。
13. その選択を確定します。
14. その乳児の体重を最初に記録したメモリースペースを選択します（ここでは 2）。
ディスプレイに矢印が点滅します。
15. 選択を確定します。
体重の差異、つまり摂取した食べ物の量が表示されます。
16. この機能をオフにするには、メニューで項目 BMIF をもう一度選択します。
17. 選択を確定します。
機能はオフになっています。
メニューは自動的に終了します。

自動保持機能をオンにする (Ahold)

自動保持機能をオンにすると、体重を測定したときの測定結果が、体重計に重さがかからなくなっても表示されたままになります。こうすると体重測定を行うたびにマニュアルで保持機能をオンにする必要がありません。

注意事項

モデルによってはこの機能が工場出荷時にオンになっているものがあります。希望によりこの機能をオフにすることができます。



1. メニューで項目「Ahold」を選択します。
2. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択してください。
 - On（オン）
 - Off（オフ）
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

シグナル音をオンにする (BEEP)

ボタンを押すたびに、また体重値が安定した場合にシグナル音を鳴らすようにするかを設定することができます。後者は、保持 / 自動保持機能にとって重要です。

注意事項

「体重値が安定するとシグナル音が鳴る」機能は工場出荷時にオンになっています。希望によりこの機能をオフにすることができます。

bEEP

P-rESS

On

1. メニューで項目「BEEP」を選択します。
2. その選択を確定します。
3. メニュー項目を選択します。
 - Press (押す) ボタンを押すとシグナル音が鳴る
 - Hold (保持) 体重値が安定するとシグナル音が鳴る
4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択してください。
 - On (オン)
 - Off (オフ)
6. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
7. 二つ目の機能に対してもシグナル音をオンにした場合には、この手続きを繰り返してください。

抑制を設定する (Fil)

抑制 (Fil (フィルター)) により、体重測定の際の障害 (例えば、患者の動きによるそれ) を減らすことができます。

F IL

F IL 0

F IL 2

1. メニューで項目「Fil」を選択します。
2. その選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. 抑制レベルを選択します。
 - 0: 低い抑制度
 - 1: 中程度の抑制度
 - 2: 高い抑制度
4. その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

工場出荷時の設定に戻す (RESET)

次の機能に対して、工場出荷時の設定を復元することができます。

機能	工場出荷時の設定
自動保持 (Ahold)	型式ごとに異なる
シグナル音 (Press)	off (オフ)
シグナル音 (Hold)	on (オン)
抑制 (Fil)	0
母乳摂取機能 (BMIF) メモリー値	0 kg
ワイヤレスモジュール (SYS)	off (オフ)
自動転送 (Asend)	off (オフ)
自動印刷 (APrt)	off (オフ)

注意事項

工場出荷時の設定を復元する場合、ワイヤレスモジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されます。ワイヤレスグループを新たに設定する必要はありません。



1. メニューで項目「Reset」を選択します。
2. その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
3. 体重計のスイッチを切ります。
工場出荷時の設定が復元され、体重計を再びオンにすればその設定を使用できます。

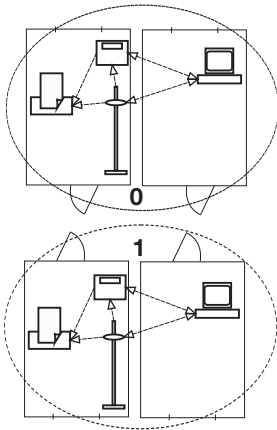
6. ワイヤレスネットワーク SECA 360° ワイヤレス

6.1 はじめに

この装置はワイヤレスモジュールを装備しています。ワイヤレスモジュールがあれば、測定結果を評価、記録するためにそのデータをワイヤレスで転送することができます。データの転送は、以下に挙げる装置に対して可能です。

- seca ワイヤレスプリンター
- seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン

seca ワイヤレスグループ



このワイヤレスネットワーク **seca 360° ワイヤレス** は、ワイヤレスグループとともに機能します。ワイヤレスグループとは、発信装置と受信装置のバーチャルグループです。同じ型式の複数の発信装置と受信装置を運用する場合、この装置では3つまでのワイヤレスグループ (0、1、2) を設定できます。

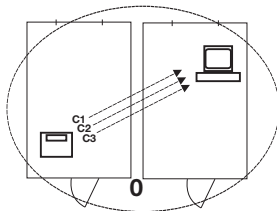
複数の検査室がそれぞれ同等の装置を備えて運用される場合、複数のワイヤレスグループを設定すれば、信頼できる方法で、かつ送信先を誤らずに測定値を転送することが可能になります。

発信装置と受信装置の最大間隔は約 10 m です。それぞれの場所の特定の条件、例えば壁の厚さや特性により、この到達距離は短くなることもあります。

ワイヤレスグループごとに、以下の装置のコンビネーションが可能になります。

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 seca ワイヤレスプリンター
- 1 seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン

チャンネル



1つのワイヤレスグループ内で、装置は3つのチャンネル (C1、C2、C3) で互いに通信します。それにより信頼でき、かつ支障のないデータ転送が可能になります。

この体重計でワイヤレスグループを設定すると、体重計は、最適なデータ転送を可能にする3つのチャンネルを提案します。提案されたチャンネル数を採用するようお奨めします。

もっと多くのワイヤレスグループを設定したいときなどは、チャンネル数 (0 から 99 まで) をマニュアルで選択することもできます。

データ転送を支障なく行うには、チャンネルはお互いに十分に離してください。30 以上の間隔をあけることを推奨します。どのチャンネル数もそれぞれ1つのチャンネルに対してのみ使用されます。

設定例、クリニック内で3つのワイヤレスグループを設定する際のチャンネル数

- ワイヤレスグループ 0 C1=_0、C2=30、C3=60
- ワイヤレスグループ 1 C1=10、C2=40、C3=70
- ワイヤレスグループ 2 C1=20、C2=50、C3=80

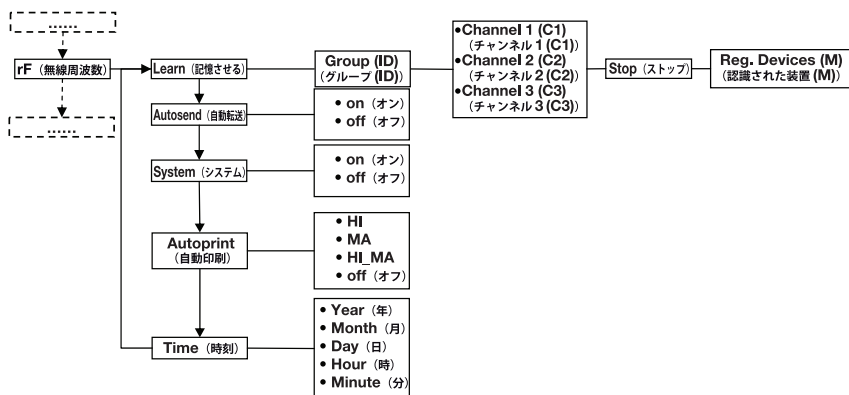
装置の認識

この体重計でワイヤレスグループを設定すると、グループはその他のアクティブな装置を **seca 360° ワイヤレスシステム** から探します。認識された装置は、この体重計のディスプレイにモジュール（例えば MO 3）として表示されます。その数値には以下の意味があります。

- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: seca USB ワイヤレスモジュール付パソコン
- 7: 乳児用体重計
- 5、6 および 8-12 システム拡張のための予備

6.2 ワイヤレスグループ内の体重計の運用

この装置を seca ワイヤレスグループの中で運用するのに必要なすべての機能は、サブメニュー「rF（無線周波数）」で説明されています。メニューの中のナビゲーションについての情報は、14 ページをご覧ください。



ワイヤレスモジュールを オンにする (SYS)

この装置はワイヤレスモジュールをオフにして納品されます。ワイヤレスグループを設定する前に必ずこれをオンにしてください。

注意事項

ワイヤレスモジュールをオンにすると電力消費が増えます。

1. 装置をオンにします。

SYS

On

ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))

rf

Lrn

Id 0

Id 1

C10

C230

2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「SYS (システム)」を選択します。
3. その選択を確定します。
4. 設定「on (オン)」を選択します。
5. その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

ワイヤレスグループを設定するには、次の手順で行ってください。

1. 装置をオンにします。
2. メニューを呼び出します。
3. メニューで項目「rf」を選択します。
4. その選択を確定します。
5. サブメニュー「rf」でメニュー項目「Lrn (記憶させる)」を選択します。
6. その選択を確定します。

現在設定されているワイヤレスグループ（ここではワイヤレスグループ0「ID 0」）が表示されます。

ワイヤレスグループ「0」が既に存在し、この装置でその他のワイヤレスグループを設定したい場合には、矢印ボタンで他のIDを選択してください（ここではワイヤレスグループ1「ID 1」）。

7. ワイヤレスグループの選択を確定します。
装置は、チャンネル1のチャンネル数を提案します（ここではC1「0」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。
8. チャンネル1に対する選択を確定します。
装置は、チャンネル2のチャンネル数を提案します（ここではC2「30」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

注意事項

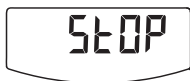
二桁目のチャンネル数の表記は、空きスペースなしで行います。「C230」という表示は、チャンネル「2」、チャンネル数「30」を意味しています。



9. チャンネル 2 に対する選択を確定します。

装置は、チャンネル 3 のチャンネル数を提案します（ここでは C3「60」）。

提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。



10. チャンネル 3 に対する選択を確定します。

STOP（ストップ）というメッセージがディスプレイに表示されます。

装置は、電波が届く範囲にある他のワイヤレス通信装置からのシグナルを待ちます。

注意事項

装置の中には、それをワイヤレスグループに統合しようとする際に、スイッチをオンにするための特別な手続きを必要とするものがあります。それぞれの装置の取扱説明書に留意してください。

11. ワイヤレスグループに統合したい装置、例えばワイヤレスプリンターをオンにしてください。

ワイヤレスプリンターが認識されると、ピーという音が聞こえます。

注意事項

ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されたら、続いて印刷オプションを選択し（メニュー\無線周波数\自動プリント）、時刻を設定します（メニュー\無線周波数\時刻）。

12. このステップ 11. を、このワイヤレスグループに統合しようとするすべての装置に対して繰り返してください。

13. エンターボタンを押してサーチ手続きを終了します。



14. 矢印ボタンを押して、どの装置が認識されたかを表示してください（ここでは Mo 3）。

複数の装置をワイヤレスグループに統合したときには、矢印ボタンを複数回押し、すべての装置がこの体重計によって認識されていることを確認してください。

15. エンターボタンでメニューを終了させるか、メニューが自動的に終了するまで待ちます。

自動転送をオンにする (ASend (自動転送))

測定結果を同じワイヤレスグループに登録されている、受信可能なすべての受信装置（例えばワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に自動的に送られるように、この装置を設定することができます。

注意事項

ワイヤレスプリンターを使用するときには、印刷オプションとして「off」が設定されていないことを確認してください（23 ページの「印刷オプション（APrt（自動印刷）」を参照）。

ASend

On

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf（無線周波数）」でメニュー項目「ASend（自動転送）」を選択し、その選択を確定します。
3. 設定「on（オン）」を選択し、その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

印刷オプション（APrt (自動印刷)）を選ぶ

測定結果をそのワイヤレスグループに登録されているワイヤレスプリンターで自動的に印刷できるように測定ステーションを設定することができます。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「learn（記憶させる）」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

APrt

NA

1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf（無線周波数）」でメニュー項目「APrt」を選択し、その選択を確定します。
3. ご使用になっている装置のコンビネーションに適合する設定を選びます。
 - HI 身長測定装置の測定結果（このモジュールにはその機能はありません）
 - MA 体重計の測定結果
 - HI MA 身長測定装置および体重計の測定結果（このモジュールにはその機能はありません）
 - off（オフ） 自動印刷なし、体重測定中はエンターボタンを長く押し続けないと印刷しません
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

時刻を設定する (Time (時刻))

ワイヤレスプリンターが測定結果に自動で日付と時刻を追加するようにこのシステムを設定することができます。それには一度この装置で日付と時刻を設定し、ワイヤレスプリンターの内蔵時計にそのデータを転送する必要があります。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。



1. 装置をオンにします。
2. サブメニュー「rf (無線周波数)」でメニュー項目「Time」を選択します。
3. その選択を確定します。
現在の「Year (年)」の設定が表示されます。
4. 正しい年数を設定します。
5. その選択を確定します。
6. ステップ 3. とステップ 4. を「Month」(mon)、
「Day」(day)、Hour (hour)、Minute (min)」
に対して繰り返します。
7. その都度、選択を確定します。
分の設定を確定するとメニューは自動的に終了します。
設定は自動的にワイヤレスプリンターに転送されます。
ワイヤレスプリンターは、自動的にすべてのプリントアウトに日付と時刻を追加します。

注意事項

ワイヤレスプリンターのその他の操作に関しては、その取扱説明書に留意してください。

7. 清掃

必要に応じて、この体重計の窪みとハウジングを家庭用洗剤または市販の消毒剤で清掃して下さい。
メーカーの指示を遵守して下さい。

8. こんなときはどうする？

問題	原因 / 対処法
何かを載せても体重が表示されない。	体重計に電力が供給されていない。 - 体重計のスイッチがオンになっているか確認してください。 - 乾電池がセットされているかを確認してください。
体重測定の前に 0.000 が表示されない。	体重計にスイッチを入れる前に何かが載せられていた。 - 体重計から載っているものを降ろしてください。 - 体重計をいったんオフにして再度オンにします。
特定のセグメントが常に点灯している、またはまったく点灯しない。	該当する箇所は何らかの故障がある。 - メンテナンスサービスに連絡してください。
表示  が表示される。	電池の電圧が弱くなっている。 - 早めに新しい電池を入れてください。
bAt が表示される。	電池が切れている。 - 新しい電池を入れてください。
StOP が表示される。	測定可能な上限を超えている。 - 体重計から載っているものを降ろしてください。
LEnP が表示されている。	体重計の周囲の温度が高すぎるか、もしくは低すぎる。 - 体重計を周囲の温度が +10 ° C から +40 ° C までの場所に設置してください。 - 体重計が周囲の温度になじむまで約 15 分待ちます。

問題	原因 / 対処法
… スイッチをオンにした後、初めて測定結果を転送してみると、二度シグナル音が聞こえた。	- この装置はワイヤレス受信装置（seca ワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスモジュール付パソコン）に測定結果を送ることができなかった。 - 体重計がワイヤレスネットワークに統合されていることを確認してください。 - 受信装置のスイッチがオンになっていることを確認してください。 - 受信機は、近くにある HF（短波）装置（例えば携帯電話）によって障害を受けている。 - HF（短波）装置と seca ワイヤレスネットワーク内の発信装置、受信装置の間隔を 1 m 以上あけてください。 注意事項 この障害が取り除かれないと、それ以上転送を試みても、新たなアラーム音は聞こえません。
rf メニューに項目「SYS」しか表示されない。	- ワイヤレスモジュールがオフになっている。 - ワイヤレスモジュールをオンにしてください（20 ページの「ワイヤレスモジュールをオンにする（SYS）」を参照）。
rf メニューに項目「SYS」と「Lrn」しか表示されない。	- ワイヤレスモジュールがオンになっていて、ワイヤレスグループが設定されていない。 - ワイヤレスグループを設定してください（21 ページの「ワイヤレスグループを設定する（Lrn（記憶させる））」を参照）。
rf メニューに項目「APrt」と「Time」が表示されない。	- ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループの中に登録されていない。 - ワイヤレスグループのメニュー項目「Lrn」でワイヤレスプリンターを登録してください（21 ページの「ワイヤレスグループを設定する（Lrn（記憶させる））」を参照）。
表示 Er:H: 11 が表示される。	体重計に過大な重さがかかっているか、体重計の一角にのみ偏った重さがかかっている。 - 体重計から載っているものを降ろすか、重さが均等にかかるようにしてください。 - 体重計を再起動します。
表示 Er:H: 12 が表示される。	体重計に過大な重さがかかったままスイッチがオンになった。 - 体重計から載っているものを降ろしてください。 - 体重計を再起動します。

問題	原因 / 対処法
表示 Er:H:16 が表示される。	体重計がぐらついてゼロ値を測定できなかった。 - 体重計が置かれている装置ワゴンやテーブルに触れないでください。 - 体重計を再スタートします。
エンターボタン (送信 / 印刷) を押すと、Er:H:11 が表示される。	データの転送ができない。ワイヤレスモジュールがオフになっている。 - ワイヤレスモジュールをオンにしてください (20 ページの「ワイヤレスモジュールをオンにする (SYS)」を参照)。
エンターボタン (送信 / 印刷) を押すと、Er:H:12 が表示される。	データの転送ができない。ワイヤレスグループが設定されていない。 - ワイヤレスグループを設定してください (21 ページの「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。

9. メンテナンス / 再検定

9.1 メンテナンスと再検定についての情報

装置の再検定の前に、メンテナンスを実施することを推奨します。

気をつけて！

不適切なメンテナンスによる誤測定

- メンテナンスおよび修理は、必ず資格を有するサービス担当者に行わせてください。
- 最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探しください。あるいは service@seca.com にメールしてください。

国内の法的規定に基づいて再検定は有資格者に依頼して行ってください。初回検定年は、型番プレートの CE マークの後ろに、指定された機関（ヘッセン度量衡局）の番号 0109 の上に表示されています。

1 つもしくは複数の安全標に抵触しているとき、もしくは度量衡メーター内容が有効な度量衡メーター標に一致していない場合には、その都度、再検定が必要になります。

9.2 度量衡メーター内容を検証する

この seca 体重計は検定を受けています。検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。これを確実に行うために、この体重計は度量衡メーターを備えています。メーターは検定技術関連のデータの変更をすべて記録します。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。



1. 場合によっては体重計のスイッチを切ります。
2. 任意のボタンを押したままにし、体重計をスタートさせます。

ディスプレイに数秒間、現在の度量衡メーター内容が点滅します。



3. 提示された度量衡メーター内容を度量衡メーター標に登録された数と比較します。



度量衡の検定が有効であるためには、両方の数値が一致している必要があります。標識とメーターの数値が一致していない場合には、再検定を行ってください。サービス担当者か seca カスタマーサービスに連絡してください。再検定が必要な場合、上記の seca 度量衡メーター標の代わりに、その隣に位置する再検定標を度量衡メーター状態の標示に使用します。この標識は、再検定を実施する有資格者によって追加スタンプによって固定されます。この再検定標は、seca カスタマーサービスから番号 14-05-01-886 で購入することができます。



10.技術データ

技術データ seca 378	
外形寸法 ・ 奥行 ・ 幅 ・ 高さ	358 mm 620 mm 190 mm
自重	3,5 kg
温度範囲	+10° C から +40° C まで
文字表示サイズ	21 mm
電源供給	単 3 乾電池 6 本
消費電流 ・ ワイヤレスモジュールはオフ ・ ワイヤレスモジュールはオン	約 32 mA 約 50 mA
乾電池で運用したときの最長運用時間 ・ ワイヤレスモジュールはオフ ・ ワイヤレスモジュールはオン	約 5.600 分 約 3.500 分
EN 60 601-1 (ヨーロッパ内) : ・ 保護絶縁された装置、保護クラス II ・ 電子医療機器 (タイプ B) (ヨーロッパ内)	 
指令 93/42/EEC および 2007/47/EC に準拠した医療用製品 (ヨーロッパ内)	クラス I、測定機能付
指令 2009/23/EC に準じて検定 (ヨーロッパ内)	クラス III
精度クラス (日本)	III
型式認定番号 (日本)	D1124
最大測定重量 ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	5 kg 12 kg
最小測定重量 ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	0,04 kg 0,1 kg
目盛りの粗さ ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	2 g 5 g
風袋 (身に着けるもの) の範囲 ・ 重量測定領域 1 ・ 重量測定領域 2	5 kg まで 12 kg まで

技術データ seca 378	
初回検定時の精度 ・重量測定範囲 1 0 - 1 kg ・重量測定範囲 1 1 - 4 kg ・重量測定範囲 1 4 kg - 5 kg ・重量測定範囲 2 0 kg - 2.5 kg ・重量測定範囲 2 2.5 kg - 10 kg ・重量測定範囲 2 10 kg - 12 kg	± 1 g ± 2 g ± 3 g ± 2.5 g ± 5 g ± 7.5 g
無線転送 ・周波数帯 ・送信出力 ・準拠規格	2.433 MHz - 2.480 MHz < 10 mW EN 30028、EN 301 489-1、-17

11. アクセサリー

アクセサリ	物品番号
seca ワイヤレスネットワーク seca 360° ワイヤレス ・ワイヤレスプリンター - seca 360° ワイヤレス プリンター 465 - seca 360° ワイヤレス プリンター アドバンスト 466 ・パソコン用ソフトウェア - seca analytics 105 ・USB ワイヤレスモジュール seca 360° ワイヤレス USB アダプター 456	国ごとに異なる 国ごとに異なる 用途ごとのライセンスモデル 456-00-00-009
その他のアクセサリ ・頭部・脚部の支え ・身長計 seca 233	418-00-00-009 国ごとに異なる

12. 廃棄処分について

12.1 装置の廃棄処分



この装置は家庭ゴミで廃棄しないでください。この装置は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各国の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください。

service@seca.com

12.2 乾電池と充電電池



使用済みの乾電池および充電電池は、それが有害物質を含んでいるか否かに関わらず、家庭ゴミに捨てないでください。使用者には消費者として、乾電池や充電電池を地域の収集場所や販売業者の収集場所を通じて廃棄する法律で定められた義務があります。乾電池や充電電池は、必ず完全に放電した状態で引き渡してください。

13.保証について

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池、ケーブル、電源ユニット、充電電池といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただければ無償で修理いたします。これ以外の請求は保証の対象とはなりません。本装置がお客様のご住所とは別の場所にある場合、往復の運送費はお客様のご負担になります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包一式を使用し、その梱包中で本機器が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca 社から明示的に認可されていない人が本装置を開けた場合、保証は失効します。

国外にお住まいのお客様につきましては、保証をご請求される場合、各国の販売店へ直接お問い合わせいただきますようお願いいたします。

seca 株式会社

〒 262-0011

千葉県千葉市花見川区三角町 94

電話 : 043-216-0850(代表)

ファックス : 043-216-0851

seca corporation

94 Sankakucho, Hanamigawaku,

Chiba City, Chiba, 262-0011 Japan

Tel.: +81 43 21 60 85 0

Fax: +81 43 21 60 85 1